



第6章

計画の目標と評価

第6章 計画の目標と評価

1. 計画の目標

本計画の目標は、恵那市総合計画で掲げる目標を踏まえて設定を行いました。本市の目標指標、基準値及び目標値は以下のとおりです。

表 50 目標指標

目標	指標	基準値（年度）	目標値 (R11(2029)年度)
居住誘導区域内の人口密度の維持	居住誘導区域内の人口密度	19 人/ha	19 人/ha
	移住支援制度を利用して移住した人数	136 人 (R5)	150 人
公共交通の利用促進	リニア基盤整備計画事業推進率	15.1% (R6)	53.1%
	公共交通機関の年間利用者数	500,472 人 (R6)	540,000 人
防災意識の向上	指定避難場所を知っている市民の割合	86.0% (R6)	88.0%
	住宅用火災報知器の設置率	69.1% (R6)	73.1%
商業振興	恵那市商工振興補助金（空き店舗有効活用促進事業）の適用件数	7 件 (R6)	(R8～R11 述べて件数) 30 件
財政の運営状況	財政力指数	0.45 (R6)	0.45

2. 計画の進捗管理

立地適正化計画は、概ね 20 年後の都市の姿を展望することとされており、本計画の計画期間は令和 27(2045)年としています。しかし、都市整備や居住環境を取り巻く情勢は刻々と変化しており、本計画に基づく各種取組を実施し計画を推進するとともに、その進捗状況や効果を適宜評価・検証する中で、適切に見直しを行っていく必要があります。本計画においては、1 年ごとに国と連携して実施する「まちづくりの健康診断」の結果を踏まえ、概ね 5 年ごとに評価検証を行い、計画の見直しを図る P D C A サイクル（Plan：計画 → Do：実施 → Check：評価 → Action：改善）を構築し、適切に対応していきます。

